

A-3 URA導入の 期待と不安

2018
9/20
10:40-12:10
神戸国際展示場
401
会議室

セッション概要

本セッションでは、URA導入を検討している（もしくは導入した）機関の、特にマネジメント側の管理担当者（研究担当理事や事務部長など）に登壇してもらい、その取り組み状況や検討課題（URA導入の期待と不安）についての内情を共有します。（例えば、「大学ブランドや外部研究資金などの向上に繋がる取り組みへの貢献」などの期待に対して、「掛ける自主経費に対して実現される成果が見えず、理事会の納得が得られない」、「どうすれば採用したい良い人材を見つけられるか」、「どうすれば良い人材を育てられるか」などの不安を想定）。

これらに対して、同様の期待や不安を持つ研究機関の担当者、および既に研究機関で大いに活躍しているURAに集まっていたいただき、質疑応答や意見などをお願いしながら議論を深めることを検討しています。またこれらの議論によって、日本の研究機関におけるURA制度の特徴や内実をあぶり出すとともに、個々のURAが身に着けるべき能力や知識などを振り返る機会にもしたいと考えています。ぜひ、ご参加ください。

なお、本セッションは、9月19日、10:30-12:00のネットワーキングセッション「N-1 人材の流動性と流動性についての考察」とも連動しています。ネットワーキングセッションでは、実際に流動している、あるいは定着しているURAの生の声をもとにネットワーキングを行います。こちらも併せてご参加ください。

登壇者（順不同・敬称略）

- 量子科学技術研究開発機構(QST)イノベーションセンター 次長 上野 彰
- 滋賀医科大学 理事(副学長)[教育・研究等担当] 小笠原 一誠
- 青山学院大学 研究推進部研究推進課 課長（兼総合研究課 課長）
佐藤 剛
- 東洋大学 研究推進部 部長(兼産官学連携推進課 課長) 根岸 哲也
- お茶の水女子大学 理事（研究・イノベーション担当）副学長 森田 育男

セッション企画・担当者連絡先

丸山浩平kmaruya@aoni.waseda.ac.jp（早稲田大学）

石田貴美子kishida@mail.doshisha.ac.jp（同志社大学）

田中有理tanaka-yuuri@jmj.tmu.ac.jp（首都大学東京）

開催場所

神戸国際会議場 401会議室 (100名収容)



◆神戸国際会議場

〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目9-1

◆アクセス

<https://kobe-cc.jp/ja/visitors/access/>をご参照ください。

参加要領

- ◆ 申込方法：RA協議会第4回年次大会ウェブサイトよりお申込みいただけます。(http://www.rman.jp/meetings2018/regist.html)
- ◆ 参加費：会員参加費 5,000円、非会員参加費 20,000円
- ◆ 申込締切：2018年8月31日(金)

ネットワーキングセッション

「N-1 人材の流動性と流動性についての考察」

- ◆ **セッション概要**：近年研究大学を中心に多くの研究機関が、URAの無期雇用化を導入し始めています。雇用の安定化にはメリットがある一方で、優秀な人材の機関流動によって生じる研究力・組織力の向上やURA自身のキャリアの向上という現状の向上に変化が生じることが想像されます。(特に、中小規模の大学や私立大学はこの人材の流動性によって支えられてきた点が大きいため)。そこで、当該セッションでは、URAの無期雇用化と流動性の両方の観点から、研究力・組織力の向上及びURAのキャリアについて、参加者とともにディスカッションしながらネットワーキングを実施したいと考えています。URAのキャリアについて聞きたい方、お話ししたい方、あるいは次の就職先をお探しのURAの方など、どなたでもご参加ください。(出入りは自由です)
- ◆ **開催日時**：2018年9月19日(水) 10:30-12:00
- ◆ **開催場所**：神戸国際会議場 406会議室